



センターだより 5月号



晴れ渡った空に、新緑の青葉。すがすがしさをを感じる季節になりました。新年度が始まって1か月。慣れない生活に、緊張やストレスが溜まっている子どもさんも多いかもしれません。親子でゆっくりと話をしたり、スキンシップを取り、ゆったり過ごす時間が持てると良いですね。また、好きな遊びをじっくり楽しむなど、ストレス発散が適度にできるように配慮していきましょう。

気温差の激しい季節でもあります。衣類の調節や、積極的な水分摂取にこころがけ、睡眠や食事をしっかり取るなど、体調管理に配慮しながら、元気に過ごしていきたいですね。



～ 5月の主な行事予定 ～

12日(水)	放課後等テイサービス
19日(水)	放課後等テイサービス 命を守る訓練
26日(水)	就学学習会(午前) 放課後等テイサービス

～ 命を守る訓練 ～
5月19日(水) : 16時～16時20分

- ・放課後デイの子どもさんを対象に行います。
- ・火災の避難訓練と、消火訓練を行います。
- ・保護者の方も是非ご参加ください。

学習会のお知らせ(就学について)

5月26日(水) 10時～12時まで

就学までの流れや、学校での支援について、みんなで一緒に勉強しましょう。

- <講師> 教育委員会学校教育課・藤井先生 瑞浪小学校教頭・西戸先生
<内容> 学校生活について、特別支援教育について、就学までの取り組みについて
(質問を、アンケート用紙にて受け付けています。)

*OBの保護者の方の体験談も聞けます。関心のある方は、是非参加してください。



～ 学校訪問・連絡会 ～

3月に就学した子ども達を中心に、学校生活移行支援を行います。

<授業見学>

当センターの職員が、一年生の学習の様子を参観し、就学後の様子を把握します。

<情報連絡会>

センターにて、小学校担任の先生と子どもの支援方法等について、情報交換します。

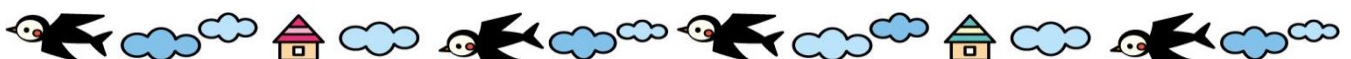
～ 保護者・学校見学 ～

子どもさんの就学先の検討や決定をするにあたり、学校見学の希望を取ります。

希望される方は、「学校見学」の書類に、必要事項を記入後、提出してください。

※5月20日頃までに、担任職員まで提出してください。

※詳細な日程は後日、お知らせします。



<おわがい>

運動遊びや、外遊びが増える季節になりました。子どもは、汗をたくさんかきます。水筒や帽子、タオル、着替えなど必要に応じて、子どもさんに合った物をご用意ください。
※担当職員とご相談ください。



親の会とは



「保護者同士の仲間作り」を目指し、「親の会」は活動しています。
親の会総会資料の中に記載されている「親の会とは・・・」には、「仲間作りの大切さ」等の気持ちが込められていますので、一部紹介します。
*正式名称は、「瑞浪市子ども発達支援センターぽけっと親の会」です。
*「ぽけっと」の名前には、お母さんのエプロンのぽけっとにいるような安心感をもってほしい、暖かく包みこむようにして育てたいという思いがあります。
*同じような悩みをもつ親同士が語り合える集まりが「親の会」です。
*「子育てが充実するように」と、研修会で勉強したり、各種行事ができるようにしています。
こんな活動してみたい！など良いアイデアがありましたら、ぜひ教えてくださいね。
職員室前の手作り用品、保護者室の子供服の古着をバザー販売しています。
売上金は、親の会の活動資金にあてられています。是非、ご協力ください。

< 運動遊びについて >

温かい気候になり、いよいよ外遊びや運動遊びが楽しめる季節になってきました。
体を使って遊ぶ事、色々な感覚刺激を楽しむといった「感覚・運動遊び」をする事は、子ども達にとっては、「ストレス発散」の活動になっているようです。
そして思いっきり体を動かして遊ぶ事を通して、気持ちがスッキリし、「情緒の安定」につながっています。
また、散歩や公園での遊具遊び等の運動遊びは、生活リズムを整える為に有効というだけでなく、「親子のコミュニケーション」「大人が子どもをリードする」といった行動調整や、将来的には「学習・就労意欲の育ち」につながっていきます。センターや家で、伸び伸びと遊ぶ体験がたくさんできると良いですね。

1. 運動する力が育つと・・・

- ☆散歩と一緒に、手をつないで歩くという体験をすると、「一緒に行動する」という協調性が育ちます。
※「すぐに手を振り払ってしまう」といった場合は、子どもが好きな遊具まで、少しの距離だけでも手をつないでみましょう。「手をつなぐと良い事がある。」という認識が育ちます。
- ☆トレーニング的に体を動かすのではなく、主体的に体を動かして遊ぶ事に喜びを感じる事で、「自分で頑張ってみよう」といった学習意欲や自発性が育ちます。
- ☆イメージ通りに体を動かす事ができるようになると、「経験を通して学ぶ」という姿勢が育ちます。



◎幼児期にたくさん体を使って遊んだ子どもは、何かに取り組む意欲が育ち、色々な課題に挑戦したり、達成する為にがんばるようになります。

2. 体を一緒に動かして、共感しながら楽しみましょう。

- ☆親子で一緒に、体を使って遊ぶ経験から、親子関係を深め、一緒に楽しむ等の共感性が育ちます。
- ☆大人は、自分を助けてくれる人、一緒にいると楽しめる人という気持ちが大人への信頼感になります。
- ☆こうした共感性や信頼感が、コミュニケーション意欲、ことばの発達に結びついていきます。



◎大人との信頼関係がしっかりと形成される事で、「一緒にやろう」といった協調性が育ちます。